

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級（口頭表現A） [Intermediate Japanese (Oral Expression A)]
対象学生	Exchange student 交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	4 単位 (4 Credits) 《火曜日と木曜日の両方をかならず受講すること》
学期 semester	前 期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) ・ 木曜日 (Thu) 3・4時限 (10:20~11:50)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小笠原 淑子 (非常勤講師) OGASAWARA, Yoshiko
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1) 初級で学習した語彙・表現・文法をほぼ問題なく実践的に使える 2) 中上級へスムーズに進めるように、中級～中上級レベルにふさわしい語彙 や表現に慣れる 3) クラスメートと日常的、もしくはリラックスした雰囲気での意見交換がほ ぼ問題なくできる 4) 口頭発表等やや改まった話し方に慣れる。また尊敬語と謙譲語の基本的 な表現法に慣れる
授業の概要 course description	話し合い (ペア・グループ・クラス全体) や口頭発表を通して口頭表現力の向 上を目指します。
授業の内容予定 schedule of the class	1) 聞いたり読んだりした内容について話す。 2) あるテーマについてペア・グループ・クラス全体で意見交換する。 3) 必要に応じて表現や文法の復習を行い、毎週語彙テストを行う。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	語彙の予習・復習。教科書付属のCDを聞いて、読みの練習をする。
教材・教科書 text	Satoru Koyama (小山悟) 『JBridge』 凡人社 *CD付き
参考文献 references	特になし
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間試験と期末試験、口頭発表、語彙テスト、授業の参加状況を総合して評価 します。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	ペア・グループワークを含む演習形式
留意点・予備知識 remarks	1) 単位が必要な学生は火曜日と木曜日の両方の授業に出なければなりません。 2) 単位をとらないで授業を聞きたい場合は、一回目の授業の前に先生の 許可をもらってください。
オフィスアワー Office hour	決まっています。先生に話して、日にちと時間を決めて会うことができます。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	なし。先生のレターケースに手紙を入れるか、クラスメートやサポートオフィ スに連絡をたのんでください。
その他 other	なし

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英名]	日本語中級（作文A） [Intermediate Japanese (Writing A)]
対象学生	中級にクラス分けされた学生を中心に、希望する学生。
必修・選択	選択
単位 credit	2単位
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thu) 1・2時限 (8:40~10:10)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山 宣子 (国際連携本部) OYAMA, Nubuko (Department of International Education & Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1) 友だちや目上の人に対して、相手に合わせて適切なメールを書くことができます。約束する、アドバイスを求める、誘う、謝るなどのメールを練習します。 2) 報告文を書く、経験についての感想を書くことができます。
授業の概要 course description	中級であっても、日本語でメールを書く必要がある場合もあります。日本語では、相手によってていねいさがちがうため、相手に合わせてメールを書く練習をします。また、報告文、経験についての感想を書く練習もします。
授業の内容予定 schedule of the class	1) 教科書やプリントを使って勉強します。 2) 自分で書いてみます。授業のあとで提出します。 3) 次の授業で、となりの人の文章を読んで、コメントを書きます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	教科書やプリントを読み、授業の後に作文を書く。
教材・教科書 text	由井2012『中級からの日本語プロフィシエンシーライティング』 凡人社
参考文献 references	特になし
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への参加度 20% 作文の提出 30% 学期末試験 50%
授業形式・形態及び授業 方法 class format	講義とグループ活動
留意点・予備知識 remarks	MSWordで書いて、印刷したものを提出しなければなりません。かならず締切を守ってください。
オフィスアワー Office hour	後日お知らせします。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko(アットマーク)hirosaki-u. ac. jp
その他 other	なし

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級 (総合A) [Intermediate Japanese (Integrated A)]
対象学生	プレースメントテストで中級になった学生
必修・選択	選択
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 1・2時限 (8:40~10:10)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	山崎 達郎 (非常勤講師) YAMAZAKI, Tatsuro
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1) 3分程度の模擬講義を聞いて、理解することができるようになる。 2) 模擬講義に出てくる中級文型や表現を理解することができるようになる。 3) 模擬講義のスクリプトを正しい発音、イントネーションで読むことができるようになる。 4) 聞いた模擬講義の内容を短い文章でまとめることができるようになる。
授業の概要 course description	1) 3分程度の模擬授業を聞いて、理解する練習をし、その中に出てくる文型・表現を学習します。 2) 模擬授業のスクリプトを使用して、音読の練習を行い、正しい発音・イントネーションを学習します。 3) 模擬授業の内容を要約する練習をします。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 授業案内、L8 第2回 L8、L9 第3回 L9、L10 第4回 L10、L11 第5回 L11、L12 第6回 L12 試験の説明 第7回 中間試験と解説 第8回 L13、L14 第9回 L14、L15 第10回 L15、教科書以外の教材 第11回 教科書以外の教材 第12回 教科書以外の教材 第13回 教科書以外の教材 第14回 教科書以外の教材 第15回 教科書以外の教材 第16回 期末テスト
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習: 授業前に教科書の音声を繰り返し聞いて、問題A、問題Bをやっておきます。 復習: 要約を書いたり、音声を聞いてリピートしたりします。
教材・教科書 text	東京外国語大学『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解』スリーエーネットワーク
参考文献 references	特になし
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	課題・授業への参加度: 30% 中間テスト: 30% 期末テスト: 40%
授業形式・形態及び授業 方法 class format	講義、グループワークによる演習
留意点・予備知識 remarks	前期は、第8課～第15課を勉強します。終わったら他の教材を使用します。
オフィスアワー Office hour	なし
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	なし
その他 other	なし

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級（読解A） [Intermediate Japanese (Reading A)]
対象学生	プレースメントテストで中級と判定された学生
必修・選択	選択
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Mon) 3・4時限 (10:20～11:50)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山 宣子 (国際連携本部) OYAMA, Nobuko (Department of International Education & Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○自分がスムーズに読める読解教材を3週間程度で決め、10週間の読書計画を立てることができる。 ○毎週、自分が決めた計画に従って一定のページを読むことができる。 ○読んだ内容を日本語で人に伝えることができる。 ○類義語を勉強し、違いを理解できる。
授業の概要 course description	このレベルの学生の読解力は学生によって大きく異なるため、学生がそれぞれ、読みたいものを自宅で読み、要約を作ってクラスで発表します。自分が簡単に読めるものを見つけるため、最初の授業では、日本語で留学生が読める代表的なリソースを紹介します。また、毎週類義語の使い分けを説明し、中間テストと期末テストをします。
授業の内容予定 schedule of the class	1回目 授業の説明と日本語の読解材料紹介 2回目 日本語の読解材料紹介 3回目 各自、計画とサマリーを発表する 4回目～13回目 計画に従って読書とサマリー作成 14回目、15回目 半期の読書状況の発表
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習：自分の決めた本を読んで要約単語リストを作る。 復習：類義語を各自復習する。
教材・教科書 text	プリント配布
参考文献 references	https://www3.nhk.or.jp/news/ https://www.nishinippon.co.jp/feature/easy_new_immigration_age/
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への参加度 30% 最終レポート 30% 類義語のテスト 40%
授業形式・形態及び授業 方法 class format	講義、グループワーク
留意点・予備知識 remarks	特にありません。
オフィスアワー Office hour	後日お知らせします。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko(アットマーク)hirosaki-u.ac.jp
その他 other	なし